

29N-pm10

新規リコポジウムアルカロイド Lycoposerramine-V, および W の不斉全合成研究
○重山 貴秀¹, 片川 和明¹, 小暮 紀行¹, 北島 満里子¹, 高山 廣光¹ (千葉大院薬)

【目的】当研究室で *Lycopodium serratum* より単離した新規リコポジウムアルカロイド Lycoposerramine-V および W の相対、絶対配置の決定を目的として、これらの不斉全合成研究を行った。

【方法・結果】市販化合物(+)-1 を出発原料に数工程を経て (-)-2 を合成し、Johnson-Claisen 転位により 7 位の不斉中心を導入した。次に、テトラヒドロキノリン環を構築後、アルデヒド(+)-5 の不斉アリル化を利用して、5 位の立体を構築した。その後、RCM 反応を用いたピペリジン環構築を経て Lycoposerramine-V の不斉全合成を達成した。これにより天然物の立体配置が 5*S*, 7*R*, 15*R* であることを明らかにすることができた。現在、(+)-7 からの Lycoposerramine-W の合成を検討中である。

